

科目名	教育課題研究 I	担当教員	天野 一哉
科目属性	基幹科目	単位数	2 単位(面接 0.5 単位)
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>教育分野における「課題」とは何でしょう。その「解決」のためにどうすればいいのでしょうか。この答えは「唯一無二」ではないはずです。ただ「教育」なる営みは現実世界で生起しているのです、閉じた世界（書籍や研究室）のみで「解決」することはできません。教育現場でのフィールドワークや同学、専門家等との対話により、「課題」を発掘し、「解決」策を画すべきでしょう。</p> <p>本講では、学習者の経験、本学必修科目「共生教育研究」を踏まえ、テキスト学修とスクーリング、事後学修により、下の到達目標達成を目指します。</p> <p>この授業の具体的な到達目標は、以下の 4 点です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育分野における「課題」とは何かを思索し、自己の「課題」を設定する。 2. 上の「課題」を解決するために、どのような方法をとるべきかを選択、創造する。 3. 修士論文執筆にあたって文章力を涵養する。 4. 修士論文の「向こう側」にある「現実」を改革、改善するための展望を試みる。 			
<p>【授業計画】</p> <p>授業は、主に、レポート提出、スクーリング、事後学修、科目修得試験(レポート方式)で構成します。</p> <p>全 15 回の授業計画については、下記のとおりです。ただし、本学は通信制ですので、以下の授業をすべて対面（スクーリング）で行うわけではありません。スクーリングは、対話形式で以下の要点を総合的に実施しますので、テキスト、参考文献を読み、スクーリング事前・事後学修を行って下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 課題探究 2 課題設定 3 方法探究 4 方法設定 5 企画立案 6 対話 7 文献調査 8 フィールドワーク 9 調査整理 10 分析 11 考察 12 執筆 13 推敲 14 発表 15 展望 			
<p>【評価方法】</p> <p>レポート 20%、スクーリング 30%、科目修得試験 40%、その他 10%で行います。科目修得試験の評価の観点は以下です。</p>			

- (1) テキストを熟読・熟考している跡がみられるか
- (2) 学修指導書に沿って学修した跡がみられるか
- (3) スクーリングで学修したことを踏まえているか
- (4) テキスト以外の参考文献(学術的専門書・論文)を熟読・熟考している跡がみられるか
- (5) フィールドワーク(実地調査)を適切におこなっているか
- (6) 論理的か(論=主張、理=根拠が適切に記述されているか)
- (7) 抽象的な思考と具体的な事例が示されているか
- (8) クリティカルシンキング(批判的思考)ができているか
- (9) レポートの課題に対応した内容になっているか
- (10) 引用文献、参考文献の出典は明記されているか
- (11) 文章表記の問題はないか(推敲をしているか)

スクーリング評価については、スクーリング時の積極的な発言および発表の内容によります。**科目修得試験提出時に自己が策定したループリックに基づく自己評価を添付してください。**

【教科書】

ウンベルト・エーコ(1991)『論文作法—調査・研究・執筆の技術 と手順』而立書房
ISBN-10: 4880591459 ISBN-13: 978-4880591452

【参考図書】

関口靖広. (2013). 教育研究のための質的研究法講座, 北大路書房.
ISBN-10: 4762828092 ISBN-13: 978-4762828096